

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	京都大学	整理番号	I01
プログラム名称	充実した健康長寿社会を築く総合医療開発リーダー育成プログラム		
プログラム責任者	上本 伸二	プログラム コーディネーター	福山 秀直

◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

〔総括評価〕

取組に遅れが見られる等、総じて計画を下回る取組であり、本事業の目的を達成するために当初計画の縮小等の抜本的な見直しを行い、見直し後の計画に応じて財政支援を縮小することが必要である。

〔コメント〕

リーダーを養成する学位プログラムの確立については、開始後3年余を経過する中間評価時にもプログラムに参加する研究科間で学位授与の方針が定まっておらず取組に大幅な遅れが見られる。参画する研究教育組織間で学位授与の方針を共有し、プログラムのガバナンスと運営体制整備のため、少数の連絡調整役に依存しない責任ある運営委員会体制と、真に実効性のある外部評価委員会の確立が求められる。

産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、計画に謳われた産学官、および、海外のインターンシップが実施されておらず、積極的かつ主体的に責任をもって早急に実施することが必要である。また、単なる見学や訪問ではない研究室間のローテーションや、学生のキャリアパスについての教員の共通理解の定着が必須である。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、学内外の指導者による教育などの具体的方策が不十分である。基盤科目（解剖学・生理学など）および特別実習の着実な実施、形式的ではないメンター制度、および、学生相互の切磋琢磨のためのコロキウム等を当初計画通りに実施する必要がある。

優秀な学生の獲得については、開始直後からほぼ応募者全員の入学を受け入れているものの定員未充足が続いており、また、広報・宣伝などの方策についても不十分であると判断される。開始以来の定員未達成の反省に基づき、今後、定員の削減計画を策定する場合は、定員未充足の現状が当初計画の実行体制の不備によるものであることを念頭に、主体的に十分な広報・宣伝を行い、プログラムに参加する教員・スタッフ全員の責任による定員充足の必達とともに質の高い学生の獲得が求められる。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについて、博士後期課程においては、研究・教育に本プログラムの関与する制度的保障がほとんどなく、さらには各研究科における学位授与とプログラム修了認定との間の調整に大幅な遅れがみられる等、計画を下回る状況にあると評価せざるを得ない。計画に謳う真に研究的な内容のプレリサーチの実施など、面接のみでなく実効性の高いQEの確立、さらに、博士後期課程の研究・教育にも本プログラムが関与する制度的保障の検討が必要である。

事業の定着・発展については、計画において強調されていた医工学についての専攻等への発展的な改組などは進展が見られず、事業の定着・発展に懸念が残る。進行中の全学的な教員組織の改革への対応のみに流されることなく、医工学専攻等への発展的な改組など、医学研究科に限定されない全学的な事業の定着・発展へ向け、関係部局のみな

らず、総長をはじめとする全学的管理運営機構を含めた一層の努力が求められる。

なお、今後の事業の実施にあたっては、上記コメントを踏まえ、本プログラムが適切かつ着実に遂行されるよう、類型別審査・評価部会において今後の事業計画を確認することとする。